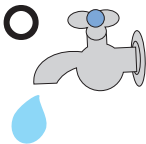


井戸水を調査します。



お宅の井戸水は調査したことがありますか？

井戸水は、生活汚染や農薬の混入は

調査してみなければわかりません。

昨日まで飲めた井戸水が今日は飲めないかもしれないのです。

井戸水だと安心してしているあなた！本当に大丈夫ですか？



使う人が自分自身で施設や水質を管理しましょう。

- ・一般(家庭用)の井戸は年に一度以上検査しましょう。
- ・業務用(食品工場・事務所など)の井戸は6ヶ月に1回以上検査しましょう。

飲料水水質検査項目内容（10項目）

検査項目	基準	説明
硝酸性窒素 及び 亜硝酸性窒素	10mg/l以下	し尿の汚染、肥料に含まれる蛋白質が分解するとアンモニア性窒素→亜硝酸性窒素→硝酸性窒素と変化します。これらは水の汚染を推定する上で有力な指標となります。特に硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を多量に含む場合は健康上注意を要します。
塩素イオン	200mg/l以下	し尿や汚水等の混入によって増大します。自然水は、相応の塩素イオンを含有するので、濃度の大小よりはむしろ相対的変動の大きい場合に、汚染の指標となります。なお、海岸近くでは、海水の影響によることがあります。
過マンガン酸 カリウム 消費量	10mg/l以下	し尿や汚水等の混入により、有機物の量が増加し消費量が増大するので、水質を判断する上で重要な汚染指標となります。
pH値	5.8～8.6	水は、各種の塩類、遊離炭酸等を含んでおり、その割合によって中性、酸性、アルカリ性を呈します。 pHが7より小さいほど酸性が強く、7より大きいほどアルカリ性が強くなります。
臭気 味	異常でないこと	水の臭気及び異常な味の原因は、下水・汚水・工場排水の混入、プランクトン・鉄・菌類の繁殖、地質及び水の塩素処理などに起因します。
色度	5度以下	水の色や濁りは、土壌その他有機物の混入、溶存物質の化学変化等によります。
濁度	2度以下	
一般細菌	100個/ml以下	一般細菌の多くは、直接、病原菌との関連はありませんが、一般細菌が多数検出される水は、病原菌に汚染されている可能性があります。
大腸菌群	検出されないこと/50ml	大腸菌群は、通常、人畜の腸管内に生息しており、これが生存することは人畜のし尿などで汚染されていることを意味します。従って、消化器系病原菌により汚染されている可能性があります。なお、採水者の手が汚染されていても検出されることがあります。